（仮訳）

日米韓外相共同声明
２０２３年７月１４日

日米韓三か国は、２０２３年７月１２日の北朝鮮による大陸間弾道ミサイル（ＩＣＢＭ）発射を強く非難する。これは、複数の国連安保理決議の明白かつ著しい違反であり、朝鮮半島及びそれを超えた地域の平和と安定に深刻な脅威をもたらす。今回の北朝鮮による大陸間弾道ミサイルの発射は、地域の民間航空及び海上交通の安全を脅かした。

我々は、北朝鮮に制裁を課す国連安保理決議が完全に実施されることを確保するため、国連及び国際社会と共に取り組む。さらに、三か国は、不法な大量破壊兵器及び弾道ミサイル計画の資金源となる海外労働者や悪意あるサイバー活動を通じた北朝鮮の不法な収入獲得を阻止するため、引き続き国際社会と共に緊密に取り組む。

米国は、韓国及び日本の防衛に対する米国のコミットメントは強固であり、核を含むあらゆる種類の能力によって裏打ちされていることを改めて表明した。また、三か国は、北朝鮮の核・ミサイルの脅威に効果的に対応するため、北朝鮮のミサイル警戒データのリアルタイムでの共有及びミサイル防衛訓練、対潜戦訓練及び海上阻止訓練の実施を含め、三か国の安全保障協力を更に強化する。

北朝鮮による核・ミサイル能力開発の継続は、朝鮮半島の完全な非核化を達成するという三か国及び国際社会の決意を強めるだけである。我々は、北朝鮮の体制が、限られた資源を不法な核・弾道ミサイル計画に使い、北朝鮮にいる人々の苦しみと人権を悪化させることに固執していることに対して遺憾の意を表明する。

日米韓三か国は北朝鮮に対し、不法で事態をエスカレートさせる行為を停止し、速やかに対話に復帰するよう強く求める。